

つながる

Vol.8 第四小スクールサポートボランティア コアラの会

社会的養護の社会化フォーラムを通して、松阪地域にも子どもに関わる活動をしている団体はたくさんあることがわかりました。各団体がつながり合えるように、このコーナーで紹介させていただきます！



今年度代表の野呂としみさんにお話を聞きました。コアラの会は、立ち上げから17年目、メンバーは10人です。第四小学校朝活の15分間、各クラス月1回読み聞かせを行っているそうです。鎌田中学校区の園や学校へ読み聞かせをしています。継続して活動を行っていることで、子どもたちの読解力の成績が高くなったそうです。

今年で活動3年目の野呂さんは、読み聞かせをする時に聞いていなさそうな子どもちゃんと聞いて反応してくれ、想像する反応と違う反応がかえってくるのが新鮮で楽しいそうです。月1回のミーティングで、子どもたちの様子を出し合ったり、次に読む本の相談やスケジュールを決めたりします。また、子育ての悩み等を話すこともあり、学年の違う子どもを持つお母さんに「大丈夫だよ」と言ってもらえて、安心出来るそうです。

地域の子どものためにやっている活動ですが、お母さん同士のつながりができているのを感じました。これからの課題は、メンバーを増やすことだそうです。

詳しくは「コアラの会コロンのブログ」をご覧ください。



お知らせ

里親シンポジウム
「子どもの声を聴こう」を開催します。
11月1日(日)13:00~16:00
三重県人権センター 多目的ホール
定員：120人 参加費：無料
《講演》
「受けとめていますか？子どもたちの想い」
《パネルディスカッション》
「子どもの声を聴こう」

●チャイルドラインMIE (きいてほしいな...) 子どもの心を受け止める 18歳までの子ども専用電話 **0120-99-7177** 毎週 月曜日~日曜日 午後4:00~午後9:00

●こどもほっとダイヤル (助けて！も言える) 子どもだけが相談できる 18歳未満の子どものための相談電話 **0800-200-2555** 毎日 午後1:00~午後9:00 (12月29日~1月3日はお休み)



特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F (開所日・時間 月~金10:00~17:00)
TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpn.jp/> eメール info@mknpn.jp

●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●

正会員：年1口5,000円 支援会員：年1口3,000円 賛助団体会員：年1口10,000円
※入会金：300円

会員数 正会員：21名 支援会員：93名 賛助団体会員：25団体 (9月末日現在)

<p>【賛助団体会員】(敬称略)</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社アクアメディカル 医療法人 イワサ小児科 うれしの 太田クリニック 株式会社 SK スズキ 医療法人 大久保クリニック おたクリニック 	<ul style="list-style-type: none"> 岡田パッケージ株式会社 医療法人 河合産婦人科 株式会社 阪本事務機 医療法人 桜木記念病院 ささおこどもクリニック 医療法人 樹玲会 上瀬クリニック 医療法人 地主矯正歯科クリニック 	<ul style="list-style-type: none"> 鎮守の森を夢見る会・その二 東海印刷株式会社 東海シール株式会社 Smile Loop Photo ナガフジ産業有限会社 はせがわこどもクリニック 健康体操 ひまわり会 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社 富士土地 松阪市健康体操連絡協議会 医療法人 南産婦人科 医療法人 社団 鷺尾小児科
---	--	--	--

他一団体



子どもたちがのびやかで豊かな「子ども時代」を過ごすために

Autumn NO.209

2020年10月 1日

発行元：特定非営利活動法人
松阪子どもNPOセンター

チャイルドラインチャリティ映画会 「ママをやめてもいいですか!？」

日時 2020年 9月19日(土)
会場 農業屋コミュニティ文化センター
参加人数 152名 (大人140名 子ども12名)



4連休初日の土曜日にチャイルドラインチャリティ映画会「ママをやめてもいいですか!？」を開催しました。子育てはずっと楽しいものではない、時に辛くて逃げだしたくてママをやめたいと思ってしまうママの気持ちを考える笑いあり、涙ありの映画でした。

参加者の中には共感し、上映中に涙を流す方、終わった後に「いい映画だった。もっといろんな人に見てもらいたい」と言ってくくださる方が多くいらっしゃいました。コロナウイルス感染症対策のために人数制限や消毒、検温などにご理解とご協力をいただき、無事映画会を実施することができました。

ご協力をいただいた皆様に感謝いたします。

〈インターンシップ生の声〉

ママの気持ちを考えたことがなかったのでこの映画で、ママのありがたさを思うとともに、人の心の深い部分まで感じることができました。スタッフとして参加していつもとは違う視点で参加し人のつながりの温かさを感じました。

インターンシップ生を受け入れました

8月9月の夏休み期間中、特定非営利活動法人ドットジェイピーからの紹介で、3名のインターン生を受け入れました。チャイルドライン事業から見えてくる子どもの現状についてミーティングをしたり、映画会の準備などに取り組んでもらいました。3名のインターン生に聞きました。



名前	参加した動機は何ですか？	参加してどうでしたか？
K.F	自分の目で、地域の福祉事業についてみたいと思ったから。	家族の悩みは人それぞれであるが、皆共通して助けを求めていることを学んだ。
S.M	このセンターでは地域の子どもたちと関わる活動を行っているので将来教員になるために役に立つ経験を積むことができると思ったから。	映画会などを通して、子どもの支援だけではなく子育てをする親の支援も大切だということ学んだ。
W.M	将来教師のために子どもたちとのかかわり方や教育者として持つべき理念などを学ぶことができると思ったから。	世の中には助けを必要としている人や人のために動いている人がたくさんいて、自分にできることもあることを学んだ。

気持ちを聴かれなかったら…

自分自身の子どもの頃を考えると親に気持ちを聞いてもらった記憶がないです。放任で、干渉もされなかったように思います。甘えたり、わがままを言ったりしたことがなかったように思います。母が義母に育てられたとおばさんに聞かされたことがあります。母の育ちの中で、親子の距離感がわからなかったのかも知れません。

自分の子育ての時を考えると、自分自身の時と同じように子どもの気持ちを聞くことがなかった気がします。夫や母が私の子育ての足りない部分を随分カバーしてくれていたと今、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は松阪子どもNPOセンターの活動に関わる中で「子どもの権利」を学びましたが、子育ての中で活かしてなかった気がします。最近やっと子どもと向き合える関係が少しずつ出来てきて、色々な話をし、子どもの考え方がわかるようになりました。

私は、よく自分の中の何かに触れると、怒りが出てきて「瞬間湯沸かし器」と言われました。その事を相手に伝えるとその感情は消えていくので、何も無かった様に話し合えるのです。最初の頃は、相手の話を聞くと自分の考えと違うので「でも」とか「違う」という否定的な言葉を返していました。最近やっといろんな価値観があり、いろんな考え方があるのだと思えるようになりました。自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを聴くことが大事だと思います。(K, K)

子どもの権利は

生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利の大きく4つに分けられます。その中でも参加する権利には

子どもの権利条約

第12条 意見を表す権利

子どもは自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利をもっています。その意見は、子どもの発達に応じて、じゅうぶん考慮されなければなりません。

第13条 表現の自由

子どもは、自由な方法でいろいろな情報や考えを伝える権利、知る権利をもっています。ただし、ほかの人に迷惑をかけてはなりません。

などがあります。

私達は子どもの声を聴いているのでしょうか。



Unicef 子どもの権利条約より

気持ちを聴かれると…

子どもに権利を与えるとは好き勝手してわがままになると言われることがあります。

私は子どもの頃、嬉しいときに親と一緒に喜んでもらった記憶があまりなく、自分の考えに自信が持てず、親の評価を気にして、「どんな服が欲しい?」「何が食べたい?」と聞かれても自分の気持ちに正直に選ぶことができませんでした。

その積み重ねから他の人との関係においても、選択を求められた時に何を選べば受け入れてもらえるかがわからず「どちらでもいいよ」と自分の気持ちを出さないようにしていました。そのため、知らない間にフラストレーションがたまり、いつも自分の思いに囚われてばかりいました。

大人になって、たくさんの人と出会い本を読んだりして、少しずつ人と違っていてもいいと思えるようになってきましたが、もし子どもの頃に「あなたの思うままでいいよ」「自分を信じていいよ」と気持ちを聴いてもらっていたら、他人と違う選択であったとしても、自信を持って好きなものを好きと言い、食べたいものを食べたいと言い、自分の思いを解放することができたと思います。

自分の気持ちが大切にされると、他の誰かの気持ちも大切にできます。それが権利を尊重するという事です。気持ちを聴くことに「過ぎる」ことはありません。自分の権利に気づけば、わがままになるのとは逆で、気持ちを聴いてもらった分、相手に優しくなれると思います。(S, A)

子どもの声を聴いていますか?

